



# 神埼市 議会だより



中国山西大学付属中学校の生徒たちが脊振中学校を訪問

## 6月定例会

## 9月定例会は9月1日開会予定です

### 目次

補正予算の概要と予算特別委員会「これが聞きたいQ&A」	……	P2～5
総務常任委員会 議案「これが聞きたいQ&A」	……	P6
総務常任委員会視察研修報告	……	P6
特別委員会活動報告	……	P7
意見書紹介・全国市議会議長会表彰	……	P8
一般質問(13名)	……	P9～15
議会の動き	……	P15
議会報告会の結果・編集後記	……	P16

# 第43号

平成29年8月9日  
2017年

# 会計補正予算(第2号)

2,512万7千円を追加

5,756万1千円)

## 農業基盤整備促進事業 4億5,090万円

農地の排水不良や用水不足等、生産基盤の課題に対し迅速な対応を行い、農業の競争力と体質強化を図る目的である。当初予算で100ha分1億7,170万円を組んでいたが、今回の補正で250ha分4億5,090万円を追加し合計350ha分の暗渠排水事業を行う予定となった。



暗渠排水工事の様子

# 平成29年度 神崎市一般 歳入歳出それぞれ 6億 (総額 162億)

## 主な質疑

**Q** 暗渠排水工事後に代掻きをしていたら、タイヤがめり込んで怖かったということを知った。転圧はどうされているのか伺う。

**A** 工事後は、通常の状態に戻している。幅としても15cmから20cmで行っており、水路側についても埋戻しはきちんと行っている。

**Q** 暗渠排水で、クレーク側を締固めしていないので、ずっと漏れている状態である。指導をきちんとして欲しい。

**A** その部分については問題があって、我々も締固めについては、業者の方には充分気を付けるようにしっかり伝えている。

**Q** 4億5千万円程の予算を計上してもらっており、暗渠排水の希望を確認されたかと思うが、その面積はどのくらいあったのか。今回の350haとの関係はどのようになっているのか。

**A** できるだけ早く暗渠排水整備を終わらせたいと考えている。国の補正予算より暗渠排水整備については、定額よりも定率が有利ではないかという方針を決定し、市としては定率で進めることとした。暗渠排水を希望される面積がどれ位あるのかということで、去年の10月13日、14日で説明会を行い、調査した面積が366haあった。その後、設計等を行い、4月に方針や負担金等を出して、再度、希望調査をした時には335haだった。





## 予算特別委員会の主な質疑

### コミュニティ助成事業について

**Q** 地区への事業紹介の仕方について、また、どうやって2地区に選定されたのか。

**A** この事業の紹介について、平成29年度採択分については、昨年7月の区長会で説明した。コミュニティセンターの申し込みについては、7地区から申し込みがあった。コミュニティ助成事業の審査会で審査をしてもらうようになってい



コミュニティセンター建設が決まった二丁目地区公民館

### 新庁舎建設事業について

**Q** 40m以内の家屋調査をされることで、18物件が調査対象になるということだが、その範囲外に何かあった時は補償の対象になるのか。

**A** 一般的に30mから40mの範囲内で家屋調査を行うということになってい

る。仮に、50m離れたところから建物被害の申し入れがあった場合、40m以内の実際に家屋事前調査をした建物の状況から判断することになる。基本的には工事前の写真を個人で撮って、工事後にどのようになったということを証明することになるかと思っている。そのようなものがない場合についても、40m以内で事前調査した家屋に被害がなければ、範囲外の家屋の被害は、工事のためのものではないと判断される。



庁舎周辺のイメージ図

### 放課後児童クラブ事業について

**Q** 各小学校に児童クラブがあると思うが、今の状態、定員と実際の利用者はどうなっているのか。

**A** 各児童クラブの利用状況については、西郷小学校は定員60名に対し80名。神崎小学校は定員120名に対し156名で36名のオーバーとなっている。仁比山小学校は定員60名に対し57名。千代田東部小学校は定員60名に対し59名、千代田中部小学校は定員50名に対し46名、千代田西部小学校は定員50名に対し58名、脊振小学校は定員40名に対し19名となっている。



放課後児童クラブの様子

**Q** 事業を実施する根拠としては学校教育ではなく社会教育になるわけで、カリキュラムは神崎市の裁量で内容を盛り込むことができるのか。

**A** 厚生労働省の事業である。カリキュラム等について基本的に、学校が終わって家庭に帰っても、保護者がいない子どもを対象として預かることで、家庭教育の一環である手洗いやあいさつ、遊び方等、家庭生活の中を放課後児童クラブで補うということになっている。指導支援員の先生から、学習の指導を受けるのではなく、親御さんの代わりとして家庭教育を補う対応だと認識していただければと思う。

### 平成29年度神崎市下水道事業特別会計補正予算

**Q** 施工延長を減じ、その分の貸付限度額についての指摘があつて繰上償還するということだが、公共下水道でこのようなことは通常あることか。

**A** 繰越しをしなければ実際の事業実績に応じた借入を4月に行う。ところが、今回は繰越しを行ったため、繰越しの予算、執行予定額の予算をそのまま借入していたが、実際の支出に応じた起債を行うということになった。

## 各常任委員会のQ & A

### 総務常任委員会

#### 《議案第40号》(全員賛成)

#### 佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合規約の変更について

#### 総務企画部

**Q** 補償について、公務、通勤災害に対してとあり、最悪の場合、死亡などになると思うが、補償の内容はどのようになっているのか。

**A** 補償内容については、佐賀県市町総合事務組合規約の中で謳われている。けがや病気をした場合、それが公務災害と認められれば、医療費等相当分が対象になり、死亡の場合は遺族に年金等が支給される。



## 総務常任委員会の活動報告

原口ひさよ 委員長

今後の人口減少、少子高齢化社会に対応していくため、4月20日岡山県奈義町「子育て支援について」4月21日岡山市の「市町村連携について」行政視察を行った。

奈義町は平成26年の合計特殊出生率「2・81」を達成され、「奈義町子育て応援宣言」を行い、行政はもちろんだ地域全体で支えていくことが町民の使命という指針を示し取り組まれていた。

岡山市は経済的な結びつきのある周辺圏域の8市5町と「岡山連携中枢都市圏」を形成し、中核となる都市と市町が1対1で協議し連携協約を締結。共有する政策を継続的かつ安定的に推進できる取り組みであった。お互いの強み、

弱みを補って行動する「新たな広域連携」であると感じた。



奈義町子育て応援宣言の研修



岡山連携中枢都市圏の研修



## 議会改革検討特別委員会の活動報告

山口 義文 委員長

6月2日に開催された第1分科会では、「議案審議における一括討論・採決」をテーマに、議案のまとめ方や賛否の意見集約方法について協議され、会議時間の短縮を図るため導入することとされた。

6月5日に開催された第2分科会では、「議会基本条例」をテーマに、制定根拠や必要性について協議され、他市の状況を調査した上で、再度協議することとされた。

6月15日に小委員会を開催し、委員会での協議事項を整理した。

6月21日に開催した委員会では、まず、第1分科会の「議案審議における一括討論・採決」について協議し、採決時間の短縮を第一義に、9月定例会から行うことで決定した。

次に、小委員会から挙げられた3つのテーマについて協議した。

1つ目の「決算特別委員会における審査結果の取りまとめ」については、今年度から意見の取りまとめの日程を組み、委員会としての審査意見等を執行部に文書で報告することとした。

2つ目の「決算特別委員会における監査委員報告に対する質疑」については、これまで行っておらず、事前通告などを考慮の上、継続協議とした。

最後に、「長期欠席に伴う議員報酬減額の条例化について」は県内各市統一した内容で本市も取り組むこととし、9月定例会で議案を提出することとした。

## 神崎市まちづくり特別委員会の活動報告

山田 一明 委員長

4月11日及び6月22日に委員会を開催した。4月11日の委員会では、新庁舎議会関係について各部屋の配置や議場内設備について協議。議場や委員会室の位置は計画通りとし、他の各部屋と議場内設備については正副委員長に一任とされ、執行部と十分協議する事となった。また、第1

回千代田庁舎利活用検討委員会の要綱等の報告を受けた。

6月22日の委員会では大きく2点について協議。第2回開催の千代田庁舎利活用検討委員会の状況報告を受け、空きスペースが生じる千代田庁舎利活用の方向性を協議した。次に新庁舎議会関係配置計画の報告については、正副委員長と庁舎整備課で十分協議し修正を行い報告した。脊振町複合施設については建設基本計画の最終版を配布し基本設計へと移行していく確認を行った。

回千代田庁舎利活用検討委員会の要綱等の報告を受けた。

6月22日の委員会では大きく2点について協議。第2回開催の千代田庁舎利活用検討委員会の状況報告を受け、空きスペースが生じる千代



利活用を検討している千代田庁舎



## 神崎市民の願いを意見書にして国に届ける

### 〈意見書第1号〉

#### 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

学校教育における課題が複雑・多様化する中で、子どもたちの豊かな学びを保障するためには、日々の授業実践の土台となる教材研究や授業準備の時間確保は不可欠である。民間シンクタンクの「教職員の働き方・労働時間に関する報告書」では、7～8割の教員が一月の時間外労働が80時間（過労死ライン）に達していること、更に1割の教員が精神疾患に罹患している可能性が極めて高いことなどが明らかにされた。

義務教育費国庫負担制度については、平成18年より国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられ、厳しい財政状況の中、独自財源による定数措置が行われている。子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられ豊かな子どもの学びを保障するための国の教育諸条件整備は不可欠である。

#### 記

1. 子どもたち1人1人に向き合った教育を実現するため、少人数学級を含む計画的な教職員定数改善を推進すること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の国の負担割合を拡充すること。

内閣総理大臣	安倍晋三 殿	総務大臣	高市早苗 殿
衆議院議長	大島理森 殿	財務大臣	麻生太郎 殿
衆議院議長	伊達忠一 殿	文部科学大臣	松野博一 殿

### 全国市議会議長会表彰

去る5月24日に開催されました第93回全国市議会議長会定期総会において、「議員在職20年表彰」で片江護議員、「議員在職15年表彰」で藤瀬光正議員が表彰されました。

#### 議員在職 20年



片江 護 議員

#### 議員在職 15年



藤瀬 光正 議員

※町議在職期間の  
1 / 2加算



農業経営にどういうやり方があるか、主体について

答 個人と集落営農と法人の3種類



宮地 明 議員

議員 株式会社にするこの一番のデメリット、何か説明していただけたら嬉しいなと思います。

小柳農政水産課長 株式会社は出費で、株の数によって発言がございませうけれども、農事組合法人の場合は平等に出資というか、一人一票制をとっております。

國廣産業建設部参事官

法人化された集落営農組織のほとんどが農事組合法人として運営されています。

道路について

議員 神崎中学校校門のところの信号機の南、新間販売店の西から南の道

路、犬の目の小学生の通学路の拡幅整備は考えられているのか。

岸川産業建設部長 この道路につきましては、現在整備を進めております。門前広場への進入道路としても活用できますことから、交通量の確認、地元の方の意見をお聞きする。

議員 この道路は犬の目の小学生の通学路となっているため、安全に歩い

て通れる道路であつて欲しい。今後における市の対応は。

産業建設部長 再度、用地の御相談に向けて地元関係者の皆様と協議を行うとともに、地元からの御意見をお伺いしながら進めてまいりたいと考えております。

その他の質問

・市職員と議員たちなど、公務員の種類について



犬の目の小学生が通る狭い通学路

女性活躍推進法の本市での取り組みは

答 仕事と子育ての両立、仕事と生活の調和の推進に努めている



木原 憲治 議員

議員 昨年4月より施行された女性活躍推進法では、勤続年数の男女差など

分析、数値目標を盛り込んだ行動計画の策定や、関連情報の公表が義務付けられているが本市での取り組みは。

志岐総務企画部長

平成27年度から次世代育成支援対策推進法に基づく「神崎市特定事業主行動計画」第2次計画の中で、この女性活躍推進法に基づく目標を加え、より良い職場環境の整備に取り組んできている。具体的な取り組みとして、女性職員の育児休業取得率100%の維持、一人当た

りの年間超過勤務時間の5%削減、一人当たりの年次休暇取得日数を10日とすることなどを目標に掲げ、男女ともに活躍できる職場づくりに努めている。

議員 現在の目標に対する進捗状況は。

総務企画部長 平成29年4月1日現在、女性の育児休業取得率は100%を維持しているが、時間外勤務は一人当たり月平均15・3時間、平成27年

度が12・6時間であるため、21・4%増、年次有給休暇では、年間一人当たり平均5・1日で平成27年が5・8日で減少している。今後もノー残業デーの定時退庁の推進と連休や夏季休暇に合わせ年次休暇の取得を推進していきたい。

その他の質問

・次期学習指導要領について



働きやすい職場づくりが求められている

ダム建設地周辺に多角的な振興策の実施と発展を

答 一帯のトータル的な発展、振興を頑張りたい



藤瀬 光正 議員

について。

**岸川産業建設部長**

水没予定地区の方々の思いを踏まえ、城原川流域住民の安心・安全な暮らしのために国や県と連携をとり進めたい。

**議員** 具体的な建設の着手時期は。

**産業建設部長** 着工時期について国から具体的な提示はない。

**議員** 国からの情報提供を待つのでは無く、周辺の整備計画策定も含め、地域の人々のために積極的に国に働きかけをお願いしたい。

**議員** 周辺地域から仁比山地区にかけては豊かな

ダム建設予定地



自然と景観に恵まれている。現在進捗中の百済門や既存事業をうまく生かして周辺一帯の発展を考えてほしい。

**市長** トータルのな発展、振興は必要と思うので、あの辺り一帯を今から頑張りたい。

**議員** 次に博物館建設、スポーツ公園、野球場建設について。財政的に野球場の建設は難しいという答弁だがスポーツによるまちおこし、青少年健全育成について教育長の見解は。

スポーツは子どもの健全育成に寄与し、施設を備えることで大会誘致など観光面での相乗効果も期待できる。ぜひ検討をお願いしたい。

**教育長** スポーツを通じてまちおこしや青少年育成を行うことは非常に有効と思う。

千代田東部地区内に子育て世代向け公営住宅建設を

答 市全体を考えて総合的に検討したい



福田 清道 議員

**議員** 神崎市の中でも千代田東部地区は国道385号線を中心に企業立地の適地という好条件の地区である。しかし市内でも人口減少率の高い地区には若い人たちも多く雇用される。

市として、子育て世代向け公営住宅建設に取り組むべきである。

**岸川産業建設部長** 現時点での建設計画はないが、どこにどのような公営住宅が必要であるか総合的に検討したい。人口減少率については平成28年度末と24年度末の5年間を比較すると、千代田東部小学校区の減少率は

約9・1%、同期間における市全体の減少率は約2・8%であり、減少率が高いことは認識している。

**議員** 市内の若い人たちが結婚すると市内に住まなくて、他の自治体に引越して生活している割合が高い。市としてもこういう世代向けの対策を図るべきである。特に東部小学校は、下村湖

先生の優れた教育力「白鳥蘆花に入る」という他の学校にはない素晴らしいブランド力を持っている。この人間を育てる「知性」に基礎をおいたまちづくりをすべきである。市長、やる気はあるのか。

**市長** やる気はあります。そういったことを踏まえ、しっかりとまちづくりを臨みたい。



千代田東部小学校



脊振高取山公園を子育て世代の施設として活かす考えは

答 子育て施策の展開が出来ないか研究していく



白石 昌利 議員

**議員** 市内人口が減少している地域には、ポイント的な子育て支援策は必要。例えば千代田東部地区には、下村湖生家を学習の場として提供し、寺小屋を開催して教育支援をおこなう。寺小屋の先生には、市内で教職を退職された方々をボランティアで募り、魅力ある生家での子育て支援で地域の活性化を図る。又、脊振地区には自然いっぱいの高取山公園がある。この広場で子育て世代・地域の方々が集まった交流事業。子どもたちは公園の自然で遊び、大人たちは交流の場として情報交換。自然いっぱい

高取山公園でやること  
が、子育て世代や地域の人たちを巻き込んだ活性化になると思うが市の考えを伺う。

**宮地企画課長** 市には

豊富な人、

物を含めた地域資源がある。子育て交流の場として、これら地域資源を生かした子育て支援が出来ないか関係団体と連携して研究していきたい。



危険な段差が続く歩道(直鳥地区)

人工透析病院の誘致

**議員** 高齢化により人工透析患者数は増加傾向にある。人工透析病院誘致の状況を伺う。

**深堀市民福祉部長** 以前、問い合わせがあった

歩道の安全対策

が誘致には至っていない状況である。

**議員** 高齢者・障害者の視点からの交通安全対策(歩道の整備)状況を伺う。

**牛島防災危機管理課長**

各関係者団体の方と高齢者・障害者の方に参加して頂き、様々な視点から道路状況を点検する取り組みを開催する予定。

人間ドックへの助成拡充を

答 多くの方が受診できるように



原 信義 議員

**議員** 人間ドック対象者三要件のひとつに保険税を完納していること、としているが、「完納」に努力している被保険者にも受診資格を与えるべきと考えるが。

**森田市民課長** 国保会計の一般財源を充てているので、完納要件を規定している。

**議員** 意図的に保険税を納めていない人に制限をかけるのはわかるが、失業・病気等によって完納していない被保険者については、考える必要があるのではないか。

**市長** 保険税が「完納」というのが原則なので御理解を賜りたい。

**議員** 市の税務課と今後の納税計画を協議している人には、人間ドック受診資格を与えるべきと思うが。

**市長** 保険税の未納分は納めてもらいたい。どうしても受診したいといわれるなら相談もあるかなと思う。

**議員** 人間ドック受診時の個人負担金一万一千円を五千円(42%)アップ

しているが、その理由についてたずねる。

**深堀市民福祉部長** 県内市町の状況を調査し、神埼市の自己負担額一万七二〇円は低いほうだったので、お願いしている。  
**市長** 県の補助対象者は2%(本市では134人)だが、200名に枠を広げたので負担金が増えた。できるだけ多くの方にやりたいと思った。



人間ドックを受診できる成人病予防センター



### 第2次神崎市総合計画の策定について

答 行政運営の中長期的な指針で市の最上位計画に位置づける



永沼 彰 議員

議員 今日までの街づくりビジョンである平成20年度からの総合計画に基づく行政運営と進捗状況について伺います。

志岐総務企画部長 平成20年3月に10年間を計画期間とし、自然と歴史と人が輝く未来都市をビジョンに掲げ街づくりの指針として策定した。行政運営では「市民協働のまちづくり」を心がけ、基本方針に基づき積極的に取り組み各種事業を展開してきたなかで一定の評価は得られた。

成30年以降の神崎市の将来像を描く上での重要課題について10年間の状況を踏まえ、人口の減少、社会情勢の変化、働き方改革、何を第2次総合計画に盛り込むのかお伺いします。

総務企画部長 人口減少と地域経済の縮小の克服にあると考えます。人口減少は将来の生産人口減少をもたらし、ひいては経済活力の減退、地域コミュニティ活動の衰退が予想されます。第2次総合計画の策定は「市民協働のまちづくり」を継続し地域ごとの人口動向にも着目し、必要に応じた検証と地域の実情を踏まえた少子化、定住対策を展開し住みやすいまちづくりを目指してまいりたい。

### 基本計画の内容

<p><b>穏やかに安心して暮らせるまちづくり</b> 〈保健・医療・福祉〉</p> <p>高齢者・障がい者福祉の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の介護予防</li> <li>高齢者及び障がい者の在宅福祉事業</li> <li>地域包括支援センターの充実</li> <li>障がい者の社会参加促進 など</li> </ul> <p>子育て支援・児童福祉の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児医療費等助成事業</li> <li>子育て支援事業</li> <li>保育園設置推進事業</li> <li>放課後子どもプラン事業</li> <li>子どもを守る地域ネットワークの推進 など</li> </ul>	<p><b>力強く活気あるまちづくり</b> 〈産業振興・観光振興〉</p> <p>地域産業・新産業の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域産業の振興・体験型の育成</li> <li>地域ブランド（神崎物産）育成支援</li> <li>企業誘致の推進</li> <li>吉野ヶ里ニューテックパーク用地の利活用の推進 など</li> </ul> <p>賑わいある商工業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特産品開発</li> <li>中小企業の育成</li> <li>職工会との連携強化 など</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 神崎市総合計画概要版

総合計画は神崎市全世帯に配布されます。しっかりと読んで市民全員がまちづくりに参画しよう（写真は第1次総合計画）

議員 平 今後における緊急かつ重要課題庁舎建設、中心市街地地活用など山積しています。平成29年度は総まとめの時期と認識して

### その他の質問

・農業政策について

### 企業誘致によるメリットは

答 新規雇用、各種税収の増加、人口の増加などが期待される



野口 英樹 議員

議員 東洋ビューティ株式会社の神崎市南部工業団地への進出が決定したが、当該企業の誘致によるメリットはあるのか。

約50億円、新規雇用については5年間で1200名を計画されております。法人税、固定資産税はもとより社員の個人住民税など各種税収の増加が見込まれるほか、女性従業員を多く雇用する業種であるため、市内に定住することにより、人口の増加にも寄与できるものと考えております。

議員 工業排水などの周辺環境への影響はないのか。

山田商工観光課長 工業排水は、当工業団地南側の農業用水路へ放流することになります。進出協定締結の際、市と東洋ビューティ株式会社との間で環境保全協定を締結し、大気汚染、水質汚濁、騒音、振動などの公害防止基準の徹底厳守に努めることとしており、その内容については、地元地区においてもご確認、ご承認をいただいております。

議員 東洋ビューティ株式会社の進出が決定したところであり、当該企業の進出によるメリットですが、投資額で

山田商工観光課長 工業排水は、当工業団地南側の農業用水路へ放流することになります。進出協定締結の際、市と東洋ビューティ株式会社との間で環境保全協定を締結し、大気汚染、水質汚濁、騒音、振動などの公害防止基準の徹底厳守に努めることとしており、その内容については、地元地区においてもご確



造成完了間近の南部工業団地

ひしぼろは神埼ブランドとして、自立した状況であるか

答 民間主導により事業展開され自立できている好事例である



議員 箕原 忍

議員 近年の販売状況はどのようになっているか。

志岐総務企画部長 平成

24年50,200枚、25年88,100枚、26年89,000枚、27年90,000枚、28年114,000枚と初の10万枚台を突破し、5ヶ年間で約2・3倍の伸びとなっている。

議員 菓子組合が6ヶ入りの小さい箱のパッケージを検討されているが市として確認しているか。

野中政策推進室長 菓子組合において検討されていることは把握していません。

議員 パッケージに神埼

市のロゴがないが、神崎市をPRする為に神崎市を入れてはどうか。

政策推進室長 ひしぼろ

の新たな販売戦略を行うためには、有効である

と考える。

議員 ブランド確立を目指すために市として支援

策は何かないか。

政策推進室長 県外で販

路拡大することが重要であると考える。市、西九州大学、神崎市菓子組合

その他の質問

- ・ 県道神埼北茂安線の進捗状況
- ・ 黒内川下流の整備状況
- ・ 集落看板が非常に見にくい今後の取り組み
- ・ 次郎体育館のトイレの洋式化



6ヶ入のパッケージ

で、今後、考案しながら前向きに協議していく。

市職員・教職員の過密労働と労働安全衛生体制の取り組みは

答 勤務管理の必要性を認識し、勤務管理システムを導入する



議員 佐藤 知美

議員 文科省が十年ぶりに実施した公立小・中学校教員の勤務実態調査に

ついては、中学校教諭の約六割、小学校の約三割が過六十時間以上勤務し、厚労省が過労死ラインとして月八十時間以上の残業をしている実態が明らかになったが、神崎市ではどのような結果が出ているか。また、市職員の残業の実態は。

永原教育部長 実態調査

については、学校名などが公表されていないので、回答することが出来ない。

佐藤総務課長 五月の時

間外勤務の状況は、対象者二百十四名で時間外勤

務者は百八十六人、平均勤務時間数は、一人当たり十八・四時間で、時間外勤務の最長は九十二時間となっています。

議員 教職員や市職員の

健康管理・過密労働の改善を行うためには職員の

勤務を常に正確に把握する

必要があると思う。特に

小中学校は教職員全てに

業務記録表の記入と月末

に提出を求めているが、

勤務実態は月末にならない

という状況

だが、タイム

カードの設置に

ついての考え

は。

教育部長 タイ

ムカードを導入

すれば、学校滞

在の正確な時間

を把握すること

は可能である。

今後、より正確

な学校滞在時間

の記録を行うよう工夫を行う。

志岐総務企画部長 タイ

ムカードなどを利用した

勤務管理の必要性を認識

している。本年度に現在

利用している職員用のグ

ループウェアを利用した

勤務管理システムの導入

により出勤管理、休暇

申請や時間外勤務の電子

申請が可能となり、事務

の効率化が期待できる。

年内稼働の予定。





### 筋力アップ養成塾の活用とその他のサービス事業

答 今後の介護予防事業、地域支援事業の重要課題



野副 芳昭 議員

**議員** 急速に高齢社会が進展し、寝たきりや認知症等の増加は社会問題である。高齢者の生活機能低下を未然に防ぎ維持向上させる介護予防の体制を確立し、地域のさまざま

まな資源を活用することが必要である。その一つに神崎市では筋力養成塾があり筋力の維持向上を目指すし、千代田、神崎、脊振で行われ多くの方が参加している。しかし送迎がないため参加できない人もいる。送迎つきで運動ができるサービス事業はないのか。

**宮地高齢障がい課長** 地区の公民館や集会所で介護予防相談、学習会、ふれあいサロン、おたっしやいきいきクラブがある。運動機能向上では、「しゃんしゃん教室」があり送迎がある。

**中学校武道必修化に伴う剣道授業と授業協力者の必要性**

**議員** 武道必修化で神崎市は剣道の授業を二中学校中二校が先生一人で行っている。剣道の目的は技だけでなく精神的な心構えも必要である。授業は安全で楽しく、もつとやりたいと感じさせることが大切で、中身は複雑多岐である。多くの生徒を先生一人で授業するのは大変である。剣道の専門家の授業協力者を活用する考えはあるか。

**教育長** ありがたいと思う。学校の話聞きアプローチしてみたい。



筋力アップ養成塾



### 主要河川30年計画は神崎市に反映されるのか

答 対象河川は、中池江川、小松川、馬場川、三本松川となっている



西原 正剛 議員

**議員** 近年、異常気象により一瞬にして堤防より越水の危険性や、集落内河川では氾濫のため農作物への影響がでている。これ以上の改修工事は行わないのか、又、市としての考えは災害発生時後の復旧対策なのか。

**岸川産業建設部長** 市管理の河川は、河川法の規定上整備計画の策定の義務はないが、局部的に河岸の状態が悪い箇所や土砂等の浚渫は、機能回復を図るため、維持的な整備を行っている。

**議員** 主要河川三十年計画で中池江川も予定されているがどの様な内容なのか。

**産業建設部長** 河川整備計画案によると、姉川橋から県道佐賀外環状線の下流までの区間について改修を行う案で定めている。

**議員** 西郷地区に尾崎川があるが起点から終点まで準用河川なのか。

**産業建設部長** 準用河川台帳によると準用河川に指定されている。

**議員** 神崎市の市道は、982路線有る中97%舗装されていると聞くと、一部舗装状況が悪く子供たちの通学時に水はね箇所がある。また、市道に安全用コーンがおかれていたのかの様に処理しているのか。

**嶋建設課長** 梅雨全盛期前に再度パトロールを強化し対処していきたい。



人力（公役）で対処できない準用河川



水資源機構大詫間幹線水路の恒久的な対策はどうするのか

答 もっと勉強して臨みたい



中野 均 議員

**議員** 水資源機構で管理

されている大詫間幹線水路の法面は、木柵工が施工されているが、柵板や金属製金網等が腐食で破損している箇所が多く、また、管理道路である市道に亀裂、段差が生じている。幹線水路の法面崩壊対策と今後どのような維持管理を行い、農業用水の安定的な供給を図っていくのか。

**國産産業建設部参事官**

現在、水資源機構において、機能診断、長寿命化調査、耐震性能照査が行われており、対象施設の事業費や事業実施時期及び工法等について、佐賀県、福岡県と協議され

ている。

**議員** 国営総

合農地防災事業、県営クリーク防災機能保全対策事業の進捗については、平成何年までに完了するのか。

**小柳農政水産課長** 国営事業

業は平成35年度、県営事業については平成34年度までに完成させる計画となっている。

**議員** 水資源公団への償

還が平成34年度に終わり、国営・県営水路のブロックマット、木柵工事も35年度までに完成する計画であり、残る水資源機構「大詫間幹線水路」の恒久的対策の事業採択に向けて取り組む考えは。



柵板が無くなった板柵工（大詫間幹線水路）

**市長** 一つの事業を起こすのは相当時間がかかりますので、私も問題点がどれだけあるのか。もっと勉強して臨みたい。

**その他の質問**

・筑後川運動公園の安全対策について

《議会の動き》(H29年4月～6月)

- 4月4日 議会広報編集特別委員会
- 11日 神崎市まちづくり特別委員会
- 17日 議会広報編集特別委員会
- 19日 第219回佐賀県市議会議長会
- 20日～21日 総務常任委員会 行政視察研修（岡山県 奈義町・岡山市）
- 24日 議会広報編集特別委員会
- 27日 第92回九州市議会議長会定期総会（熊本県熊本市）  
議会広報編集特別委員会
- 5月2日 全員協議会
- 10日 長野県須坂市議会より行政視察
- 16日 総務常任委員会
- 16日～18日 佐賀県市議会議長会 視察研修（沖縄県うるま市、那覇市、宮古島市）
- 17日 防衛省全国情報施設協議会役員会（沖縄県糸満市）
- 18日 新潟県見附市議会より行政視察

- 19日 産業建設常任委員会
- 23日 臨時佐賀県市議会議長会（東京都）
- 24日 全国市議会議長会第93回定期総会
- 25日 市議会議員共済会第114回代議員会
- 30日 議会運営委員会  
議会報告会運営会議
- 6月2日～27日 平成29年6月第2回神崎市議会定例会
- 2日 議会改革検討特別委員会 第1分科会
- 5日 議会改革検討特別委員会 第2分科会
- 12日 議会広報編集特別委員会
- 13日 議会運営委員会
- 15日 議会改革検討特別委員会 小委員会
- 16日 平成29年度予算特別委員会
- 20日 文教厚生常任委員会  
総務常任委員会
- 21日 議会改革検討特別委員会  
議会報告会全体会議
- 22日 神崎市まちづくり特別委員会
- 27日 議会運営委員会  
全員協議会

# 議会報告会を開催しました

7月21日(金)

- 会場：脊振公民館 2階 大会議室
- 参加者数：15名



7月22日(土)

- 会場：神崎市中央公民館 1階 第1研修室
- 参加者数：10名

7月30日(日)

- 会場：千代田支所 2階 2-2会議室
- 参加者数：8名



## 編集後記

先日の大雨では、福岡県朝倉市、そして大分県日田市では線状降水帯による大災害に見舞われました。

筑後川及びその水系の神崎市は、日々の恵みとともに災害の危険を有しています。今年も8月、9月の台風シーズンを前に、災害に備え万全の注意を払い市民の安全を願うところ です。

北部九州豪雨災害で犠牲になられた方々の御冥福を祈りつつ被災地の早期復興を祈念します。

(記 永沼 彰)

広報委員会	
委員長	野副 芳昭
副委員長	原 信義
委員	白石 昌利
委員	永沼 彰
委員	原口ひさよ
委員	田原 和幸